

ノリ養殖情報（第16報）

令和6年2月8日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今回の調査は16回目です。
今年度は、10月中旬から3月下旬までに月に3~4回、合計23回の陸上調査を予定しています。

1. 調査結果

調査日：2月4日(日) 天候：くもり 気温：9.7℃(20:03時点)

(今回(2/4)の水温等の測定時間帯 20:03~22:04) ※前回と調査時間帯が異なります。

(前回(1/28)の水温等の測定時間帯 15:47~17:25)

調査点		水温 ℃		比重 σ ₁₅	栄養塩：無機態窒素 μg-at/L		クロロ フィルa値	病害 検鏡結果	
		今回	前回 1月28日		今回	今回		前回 1月28日	今回
1. 長崎鼻	支柱	10.0	9.7	22.0	/	3.4	/	/	/
2. 神代	支柱	10.1	10.1	21.4	16.2	4.4	4.6	++	なし
3. 大野浜	支柱	10.3	11.2	22.1	7.3	5.3	3.0	なし	なし
4. 半田	支柱	10.6	11.3	22.3	12.3	14.2	5.2	++	++
5. 三会	支柱	10.6	11.1	22.1	8.6	7.5	8.8	+	なし

※ 長崎鼻の栄養塩、クロロフィルa値の調査は、隔週で実施します。

※ 栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※ アカ、ツボ：なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

● 主な植物プランクトン（単位：細胞/mL）

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻			大型珪藻	
	スケレトネマ属	キートセロス属	タラシオネマ属	リソソレニア属	コシノディスカス属
2. 神代	165	125	46	1	0
3. 大野浜	34	2	0	0	0
4. 半田	45	7	9	3	1

●調査結果概要

- ・水温は、10.0℃～10.6℃。海水比重(σ₁₅)は、21.4～22.3。
- ・漁場に設置している温度計の1月28日から2月4日迄の測定結果は、平均温度は9.1～9.8℃で、昨年より1.3～1.4℃高く推移しました。
- ・栄養塩は、7.3～16.2 μg-at/Lで、4観測点全てでノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・あかぐされ病は神代・半田で目視レベル、三会で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・壺状菌病は半田で目視レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンは、スケルトネマ属(最大165細胞/mL)が優占していました。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県: 小型珪藻類は減少していますが、大型珪藻(ユーカンピア)は前回調査(2月2日)から横ばいです(2月6日)。
- 熊本県: 熊本市地先から宇土市地先にかけて珪藻類(優占種: スケルトネマ属、キートセロス属)の赤潮が発生しています(1月17日)。

3. 他県の情報

- 佐賀県: 摘採や活性処理が行われています。アカは、24点中10点(肉眼視レベル2点、顕微鏡レベル8点)で確認されました。ツボは、24点中2点(全て肉眼視)で確認されました。筑後川河口域(沖合漁場)から太良町地先まで色調の低下が確認されました(2月6日)。
- 熊本県: アカを17地点(24地点中)で確認しました。色調低下は、一部漁場で見られましたが、重度の色落ちは確認されませんでした。生育は、概ね良好で摘採サイズに達している網が多く見られました。黒・クモリの製品が見られています(2月1日)。

4. 本県の情報

- 浮き流し漁場と支柱漁場で摘採が行われています。
- 支柱漁場の一部で色調の低下が確認されました。
- ノリ網の検鏡結果
 - ・あかぐされ病が3漁場で確認されました。
 - ・壺状菌病が1漁場で初認されました。
 - ・一部漁場の葉体で付着珪藻(リクモフォラ)が多く確認されました。
 - ・葉長は44.2～213.1mmの範囲で、平均は57.3～158.8mmでした。